(四版)

仏弟子全で同じなりぶっでしすべまな は何時でも皆のたまなけ ため

教日本に根付いて以来きょうにほんねづいて以来

世の為人の為なるはょ
ためひと
ため

皆人持つべき 心掛けみなひとも

つつし

いちげん

慎みは一元

)の為は慎れ ため つつし

み持たん

我慢は二元

にげん

出家在家の男女、 四衆

だいじょうぶっきょう 大乘仏教

出家は己の為をやめいのけはのれため

一切衆生の為に在りっさいしゅじょう ため あ

今生歩むに自分は在るもしんじょうあゆ

もちろん忍辱心にさだむ

しゅっ けとく ど 出家得度

少欲知足しょうよくちそく

忍辱波羅蜜 にんにく は ら みつ

家庭優先矛盾なりかていゆうせんむじゅん 出家の家庭は衆生の出家には とのじょう の為に

伴侶と慚恥の服を着ん増化が結婚するならばそうりょりっこん 耶の服を着ん

宮城県大崎市

有愧の人 無愧の者

寺族得度

瑞川寺住職

木村謙文

http://www.zuisenji.jp/